

The 41th "Coca-Cola" Suzuka 8 Hours Endurance Race
 2017-2018 FIM Endurance World Championship Final Round

Mistresa with ATJ Racing #16
TAKAHIRO NAKATSUHARA
TARO SEKIGUCHI
TEPPEI NAGOE



HONDA

HRC

BRIDGESTONE

MUSASHI

Arai HELMET

YAMAHATAI

NGK SPARK PLUGS

eIF

TGK

ACTIVE
Rev and Ride It!

RK
TAKASAGO CHAIN

SUNSTAR

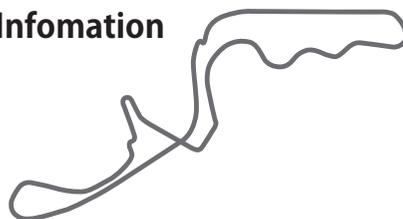
KRS

SIGNET

■ Mistresa with ATJ Racing Media Infomation Media Infomation

2017-2018 FIM 世界耐久選手権シリーズ (EWC) 最終戦
 “コカ・コーラ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 41 回大会

三重県 鈴鹿サーキット (1 周 =5.821km)
 観客動員数 (4 日間合計) : 111,000 人



予選 : 23 番手 (タイム : 2 分 10 秒 870)

決勝 : 16 位 (190 周)

天候 : 7 月 26 日 (木) 晴れ 路面 : ドライ

7 月 27 日 (金) 晴れ 路面 : ドライ

7 月 28 日 (土) 曇り 路面 : ドライ

7 月 29 日 (日) 晴れ 路面 : ドライ・ウエット



昭和電機では全日本ロードレースをより一層盛り上げるべくチームやメーカー、クラスを越えて各クラスのゼッケンナンバーが「71」のライダーとチームを応援する 71 プロジェクトを発足いたしました。

71 プロジェクトでは、応援ツアーの開催や公式プログラムへの広報記載、応援グッズの配布、ピットウォーク時のスタンプラリーなど、様々な企画を計画しております。各クラスで#71 を付けたチーム・ライダーのご声援をよろしくお願いたします！



<http://mistresa-71.com>



JSB1000
 Team KAGAYAMA
 #71 加賀山 就臣 選手

J-GP2
 TONE RT SYNCEDGE4413
 #71 三原 壮紫 選手

J-GP3
 Team P.MU 7C MIKUNI
 #71 小室 旭 選手

ST600
 Mistresa RT HARC-PRO.
 #71 上原 大輝 選手

JP250
 Mistresa RT HARC-PRO.
 #71 赤間 清 選手

The 41th "Coca-Cola" Suzuka 8 Hours Endurance Race 2017-2018 FIM Endurance World Championship Final Round

Mistresa with ATJ Racing #16

TAKAHIRO NAKATSUHARA / TARO SEKIGUCHI / TEPPEI NAGOE



Mistresa ATJ Racing

Mistresa with ATJ Racing、3年目の集大成



オートテックジャパン(ATJ)と昭和電機株式会社がコレボレーションし、鈴鹿8時間耐久ロードレースに参戦するのも、今回で3年目。Mistresa with ATJ Racingとして2018年の鈴鹿8耐は、集大成とも言える大会となった。

関口も2分09秒673と、名越と、ほぼ同タイムを記録し、マシンセットがいい方向に進んでいると感じさせた。予選順位は、3人の平均タイムとなるため、2分10秒870で23番手グリッドからスタートすることになった。



東から西に向かう異例のルートで接近してきた台風12号は、日曜日の未明までには、西に抜けていたが、その影響は大きかった。決勝日朝のフリー走行は、青空が広がり路面は乾いて行き、ドライコンディションとなって行く。しかしスタート進行が始まり、グリッドにマシンが並ぶころに雨が降ってくる。そのグリッドにMistresa with ATJ Racingのマシンはなかった。マシントラブルが発覚し、必死に修復作業を行っていたからだ。グリッドにマシンを並べることは、できずウォームアップ走行でピットアウトし、何とかスタートすることができていた。



TEPPEI NAGOE

スターティングライダーは、名越が担当。ウェットコンディションの中、オープニングラップで18番手までポジションアップ。その後順位を下げるが、安定した走りを見せていた。路面はウェットでスタートしたが、雨は止み太陽が出て来たため、急激に乾いて行った。路面が乾くと各チームは、早めにピットインし、タイヤをスリックに交換。名越に変わって関口が出て行く。その後、スタートでグリッドにつけなかったことで30秒間のペナルティ、アクシデントやオイル処理によるセーフティーカー、さらにスコー



TAKAHIRO NAKATSUHARA

ルのような雨など、耐久レースならではの出来事が次々に起きるが、ライダー、チームもチェッカーフラッグを受けるために全力を尽くした。

そして7時30分過ぎにチェッカーフラッグが振られ、16位でゴール。Mistresa with ATJ Racingとして3年間の戦いが終わった瞬間だった。

■中津原尚宏コメント

「鈴鹿284レースでボクが転倒しケガをしてしまったことで、ニュー CBR のセットアップが進まず、皆さんにご迷惑をかけてしまいました。その中で、昨年と同じライダーラインナップで臨めたことは、事前テストからのセットアップのスピードアップにつながったと思います。全日本J-GP2クラスのトップを走っている2人と組めたことで、いろいろ勉強になりました。昭和電機さん、3年間一緒に戦っていただき本当にありがとうございました」

■関口太郎コメント

「新型 CBR1000RR SP2 は、ポテンシャルはあるのですが、その実力をなかなか引き出すことができずに産みの苦しみを味わいました。そこはチーム一丸となってマシンを決勝までに、まとめることができたと思います。スタート直前にトラブルが発覚したことも不幸中の幸いだったと思います。決勝中は、ノントラブルでしたし、チームの皆さんもノミスでピット作業をしてくださいました。できれば、一昨年の9位を上回りたかったのですが、これもレース。無事完走できてよかったと思います」

■名越哲平コメント

「昭和電機株式会社の広報社員として今年も Mistresa with ATJ から鈴鹿8耐に出場させていただきました。昨年は、初めての8耐で本番を走るかどうか分からない状況でしたが、今年は、スタートライダーもさせていただき、体力的にも全く問題なかったです、すごく有意義な鈴鹿8耐になりました。中津原選手、関口選手と一緒にマシンセットを行うことも、すごく勉強になりました。この経験をシーズン後半戦に活かしていこうと思っています」



このリリースのお問い合わせは
昭和電機株式会社 営業推進部 sales@showadenki.co.jp

今年は、マシンを新型の Honda CBR1000RR SP2 にスイッチ。タイヤも 17 インチとなり、ATJ のエースライダーである中津原尚宏が、マシンを仕上げて行く予定だったが、鈴鹿 284 レースで転倒負傷してしまい、大幅に開発スケジュールが狂ってしまった。ライダーラインナップは、中津原、関口太郎、そして今年より昭和電機の広報社員となった名越哲平という昨年と同じメンバー。7月上旬のメーカー合同テストから3人そろって参加し、マシンセットを進めて行くが、なかなかいい方向に行かず苦労していた。厳しい暑さとなった公開合同テストでは、ようやくドライコンディションとなり、マシンセットが進んで行く。新型になり、メカニカルな部分でも変更が多く、ライダーたちも、そのシステムに慣れることも課題となっていた。



TARO SEKIGUCHI

レースウィークに入ると、さらにマシンセットは進み、ようやく攻められる状態になって来る。木曜日の公式練習は、2分11秒821で22番手につける。金曜日は、公式予選を前にしたフリー走行で名越が転倒するアクシデントもあったが、チームは素早くマシンを修復。公式予選では、名越がチームベストとなる2分09秒630をマークする。